

# 史福レポート

2021年 vol.9



愛媛県議会議員  
福羅浩一事務所

〒794-0026  
今治市別宮町6-4-19  
TEL 0898-34-0202  
FAX 0898-34-0203  
✉fukura2951koichi@gmail.com  
ふくら浩一 オフィシャルサイト  
http://ふくら浩一.net/



## 原点回帰、県民の皆様に寄り添う政治を!



愛媛県議会で代表質問

こんにちは、愛媛県議会議員のふくら浩一です。

本年度、愛媛県議会議員として四期十四年目となりました。お世話になった皆様への感謝の気持ちを忘れず、今後も誠心誠意努力していく所存でございますので、なお一層のご指導ご鞭撻を宜しくお願い致します。昨年から続くコロナ禍において、医療関係者の皆様をはじめ、多大なるご協力をいただいている県民の皆様に改めて感謝申し上げます。皆様の健康と暮らしを守る対策に今後も全力を傾注し、皆様の思いに寄り添いながら一緒に課題解決に取り組んでいきたいと考えております。また、ウイズコロナ、アフターコロナに伴う社会経済情勢変化を的確に捉え、デジタル技術を駆使した新たな施策展開や、大都市圏からの移住者受け入れ、企業誘致の推進等の人口減少対策、実需の迫及による地域経済の活性化など、必要な対策を迅速に打ち出していく必要があると考えます。加えて、もう一つの最優先課題である西日本豪雨災害からの創造的復興に全力で取り組むと共に、豪雨災害への検証をしっかり行い、災害に強いまちづくりを目指していかねばなりません。そして復興へ力強く歩んでいる愛媛の姿を県内外に発信し、新たな交流の創出も見出していきたいと思っております。

今治市と上島町が元気になっていくよう、議会においても政策立案能力を高めるとともに、いま一度原点に帰って、住民の声に真摯に耳を傾け、地域の課題に全力で取り組んでいく所存でございますので、皆様方のより一層のご支援ご協力を心からお願ひ申しあげます。

愛媛県議会議員 福羅浩一 拝

### 地域の皆様の「声」を背負って

令和2年9月16日

#### 第371回 愛媛県議会本会議代表質問

安倍政権に対する知事の評価はどうか。また、新政権に期待することは何か。

##### 【知事答弁】

安倍政権は、7年8か月にわたる安定的な政権運営のもと、経済再生を最優先に掲げ、大胆な金融緩和や積極的な財政出動により、企業業績の向上や株価の上昇、雇用情勢の改善等を実現するとともに、特に、外交面において良好な日米関係を構築し、積極的な首脳外交により国際社会での我が国の存在感を高め、通商交渉やオリ・パラ誘致等に実績を残されたことを評価しているところ。

また、人口減少が進む地方に対し、地方創生を強力に推進し、地域活性化に向けた主体的な取り組みを一貫して支援頂いた。さらに、西日本豪雨災害で、発災3日目に私が上京した際、安倍総理に深刻な被災状況を直接受け止めていただき、南予での大規模断水の迅速な復旧への支援や、脇川の治水対策をはじめとする防災・減災対策にご尽力を賜り感謝申し上げます。本日発足する新政権には、ま

ずは何よりも新型コロナウイルス対策に最優先で取り組み、感染拡大の防止と落ち込んだ経済活動の回復への道筋を示すことで、国民の不安払拭に努めるとともに、人口減少や少子高齢化、災害からの復旧・復興、エネルギー政策など山積する諸課題について、国民目線に立った丁寧かつオープンな議論を展開し、地方や現場の声に真摯に耳を傾けていただきながら、スピード感を持って具体的な成果を出していただくことを大いに期待している。

##### 【知事答弁】

検査については、医師が必要と認めた場合は漏れなく、また、感染が確認された場合は、徹底した囲い込みと封じ込めを行うため、関係者に対し幅広くPCR検査を行うことを基本に、当初から対応してきたところ。このような中、国から、季節性インフルエンザの流行を見据え、

#### 県議会代表質問

### 新型コロナウイルス 迅速検査市町など協議

知事 キットやドライブスルー



自 民 浩一氏  
福 羅

季節性インフルエンザの流行期に備え、新型コロナウイルス感染症の検査診療体制をどう構築するか。中村時広知事 発熱などの症状がある患者の増加を見据え、医師会の協力・合意を得た上で、地域のかかりつけ医など身近な医療機関での相談・受診を通じて

必要な検査につなげる体制を整えるよう国から求められている。県内の各医療機関では、各医療機関で迅速に検査診療できるよう、抗原検査キットの利用拡大やドライブスルー方式による検体採取などの検査について市町、医師会など地域医療資源の実情を考慮しながら協議している。コロナ禍で地方への移住に関心が高まる中、移住促進にどう取り組むか。中村知事 大都市のテレワークに向けた移住促進施策として、デジタルマー

これまでの検査体制等を見直し、発熱等の症状が生じた患者については、地域のかかりつけ医などの身近な医療機関に直接相談・受診し、必要な検査に繋げる体制を、地域の医師会とも協議・合意の上で整備するよう求められている。

このため、現在、発熱患者に対する検査体制の構築について、県医師会の先生方の協力がなければ進まないため調整を進めるとともに、各圏域では、地域の医療資源の実情も考慮し、各医療機関で迅速に検査が行える抗原検査キットの活用拡大や、ドライブスルー方式による検体採取などの検査方法について、地元市町や郡・市医師会等と協議を進めているところ。多数の発熱患者等の発生が予測される秋冬のインフルエンザの流行期においても、必要な検査が迅速に実施できるよう、今後とも医師会等と緊密に連携を図りながら、多くの医療機関で診療・検査を担う体制ができるよう、その構築に取り組んでまいりたい。

#### 地方移住への関心が高まっている中、今後、本県への移住促進にどう取り組むのか。

【知事答弁】  
本県では、これまで大都市圏での積極的な移住フェアの開催や移住コンシェルジュの設置、移住者の住宅改修支援など、きめ細かな移住促進施策を展開して

おり、昨年度、全国移住希望地ランキングで初のトップ10入りを果たすとともに、移住者数も年間1,909人と5年連続で過去最多を更新するなど、着実に成果を上げていくものと実感している。

また、コロナ禍が長期化する中、本年度から、オンラインでの移住フェアや常設相談を実施しているほか、近年の大都市圏における田舎暮らしへの関心の高まりや、働く場所を問わないテレワークの拡大などの動向に着目し、本県への更なる移住に結びつける新たな戦略のもと、8月補正予算で、他県に先駆けて、テレワークをターゲットとした移住施策に取り組むこととしたところ。

具体的には、デジタルマーケティングを活用し、大都市圏のテレワークにえいめ暮らしの魅力を活かして発信することにも、市町や民間事業者によるシェアオフィス等の整備や、地域特性を活かした交流・体験メニューの開発等への支援を行うほか、特に、人口減少が著しい南予地域では、企業を対象としたワーケーション誘致や、地域おこし協力隊のOB団体等と連携したテレワークの地域定着支援を行う拠点施設の整備に取り組む、本県への新たな人の流れを創出したいと考えている。

今後とも、市町や関係団体等と緊密に連携し、ゆとりと潤いのある環境の中で仕事と生活を楽しむことのできる「愛媛発の

#### 自民県連と本部 遠隔で意見交換



自民党県連の渡部浩幹事長ら19日、党本部の下村博文政調会長らとリモートで意見交換する県連役員ら。19日午後、松山市東雲町。

自民党県連と本部 遠隔で意見交換  
Go To 再開など議題  
自民党県連の渡部浩幹事長ら19日、党本部の下村博文政調会長らとリモートで意見交換する県連役員ら19日午後、松山市東雲町。

接種に関し地域の実情や要望を踏まえた柔軟な対応のほか、自治体や協力機関への財政支援などを求めた。意見交換は順次、都道府県連と行っており、下村氏は他県でも「トラベル」に関する県民向けの県内版の再開などについて意見交換した。下村氏は観光支援事業「Go To トラベル」について「できれば今月中につくってほしい」と政府に要請している」と述べた。ワクチン接種には、合理的に必要なと考えられる費用を国が全額負担するよう、足りない点を申し出るよう促した。(松本尚也)

### 令和3年度当初予算の重点施策(抜粋)

令和3年度当初予算額：6,948億円(前年当初比+517億円、+8.0%)

#### ①コロナ対策強化、医療福祉の充実

- ・コロナワクチン接種体制の整備 3700万円
- ・各圏域でのPCR検査体制の維持強化 7億4900万円
- ・入院患者受入協力金の支給や受入病床確保 92億5900万円
- ・県立新居浜病院の建て替え整備(病院事業会計) 23億6300万円
- ・在宅介護研修センターのオンライン環境の整備 600万円

#### ②豪雨災害からの創造的復興、防災減災対策

- ・南レク公園の魅力向上対策 900万円
- ・えひめ南予さずな博の開催 1億7500万円
- ・柑橘園地、農家の早期復興復旧支援 3億2000万円
- ・原子力災害に備えた避難経路の局部改良 3億8500万円

#### ③デジタル技術を駆使した施策展開

- ・DX推進体制構築とデジタルプラットフォーム運営 1億200万円
- ・防災関係システムへの5G技術の活用検討 600万円
- ・県内企業の5G製品開発への産技研による支援 1400万円

#### ④人口減少対策

- ・移住拡大と企業テレワーカーの誘致促進 1600万円
- ・「あのこの愛媛」を活用した雇用移住マッチングの促進 3200万円
- ・介護や農林業における外国人材の受入促進 5300万円

#### ⑤地域経済の活性化

- ・しまなみ海道や来島海峡エリアの魅力発信 6700万円
- ・ジップラインを核としたとべもりエリアの魅力向上 1億7000万円
- ・シェアオフィスを活用したサテライトオフィスの誘致 500万円
- ・JAと連携して取り組む農業の担い手確保対策 1億3700万円

#### ⑥教育、文化、スポーツ

- ・全国募集を行う県立高校の取組促進 900万円
- ・学校でのテストやドリルの自動採点システムの開発 8800万円
- ・愛顔感動ものがたりや愛媛国際映画祭の開催 3800万円
- ・2022年プロ野球オールスターゲームの機運醸成 3600万円

#### ⑦社会資本整備

- ・岩城橋や大洲八幡浜自動車道の整備促進 43億4900万円

県民のニーズや県議会各会派の要望を踏まえ、スクラップアンドビルドを徹底し、財政健全化にも目配りした上で、メリハリの利いた予算編成となっている。

暮らし方改革」を広く情報発信することで、本県への移住・定住の一層の促進に努めてまいります。

【教育長答弁】  
依然としてコロナ禍の収束が見通せず、感染リスクと向き合いながら、子供たちの豊かな学びを確保する難しい舵取りが続く中、学校現場では、3密回避など従来の基本的対策の徹底に加え、外部からの感染を防ぐ水際対策や感染発生時における迅速かつ徹底した囲い込みなど、家庭との連携を強めながら、影響を最小限に食い止めるための態勢強化に不断の努力を重ねているところ。

【知事答弁】  
県では、一昨年の西日本豪雨災害の経験を踏まえ、同様の被害を二度と繰り返さないという強い決意をもって、県政の最重要課題の一つに掲げる防災・減災対策を一層推進するため、ハード面では、浸水被害が発生した河川の改修や甚大な被害をもたらし堤防決壊を防ぐための補強対策に重点を置き、治水機能の強化を図るとともに、治水安全度の向上に即効性のある河床掘削にも継続的に取り組んでおり、今回の補正予算案においても、地域からの多くの要望を踏まえ、本年7月の豪雨等により堆積した土砂の撤去を機動的・集中的に行えるよう、必要な経費を大幅に増額して計上している。

【土木部長答弁】  
4つの島を3つの斜張橋で繋ぐ上島架橋の実現は、島民にとって合併当初からの悲願であり、既に橋で結ばれた3島では、地域の祭りやスポーツ・文化活動における交流の拡大、西日本豪雨災害での断水に伴う応急活

動など、様々な面で効果を発揮しており、残る岩城橋についても早期完成が望まれているところ。  
この岩城橋は、高さ130mを超える主塔から、ケーブルを使って左右のバランスを保ちながら、海上約45mの高さに橋桁を張り出していく難易度の高い工事であるとともに、現場では、県外からの作業員も多く、3密回避など新型コロナウィルス対策をより徹底し、慎重に作業を進めている。

現在、2つの主塔の建設とコンクリートの橋桁の架設が約9割まで進捗し、来月には海上から鋼製の橋桁の架設にも着手する予定であり、来年夏頃、全長735mの本体橋の橋桁が繋がる見込み。  
県としては、岩城橋の完成が、上島町全体の一体化はもとより、地域産業の活性化、観光振興等に大きく寄与するとともに、消防活動や救急搬送の新たな移動手段として、住民の安全・安心の確保につながることから、令和3年度の開通に向け、引き続き、全力で取り組んで参りたい。

【上島架橋事業における岩城橋建設工事の進捗状況と今後の取組みはどうか。】  
また、ソフト面でも、河川施設のみでは防ぎきれない大洪水は必ず発生するとの認識のもと、県民の皆さんにためらうことなく避難していただくために、小学生への防災教育による自助意識の向上や、登録者数全国1位を目指している防災士の養成による地域防災力の充実に取り組むなど、避難支援策の強化を推進している。

## ふくら浩一の主な活動

～ 全ては地域の活力のために ～

ふくら浩一は議会活動だけでなく、さまざまな活動をしています。



県議会議員在職10年表彰をいただきました



第25回水軍レースにて見事「大福会」優勝!



第23回愛媛県アームレスリング選手権大会にて



岡山理科大学獣医学部の視察



モアクーン別荘にて段ボール回収のボランティア



愛顔つなぐえひめ国体 開会式にて



鶴島ビーチクリーンに参加して清掃活動



リモートでの党本部への要望に県連政調会長として参加



愛媛県議会野球部主将 四国大会優勝



FC今治 岡田武史会長と



私学連盟、私立幼稚園協会陳情



自民党会派 予算要望



### ふくら浩一のプロフィール

1968(昭和43)年11月7日生(申年)  
 出身地：今治市  
 今治市立別宮小学校 卒業  
 今治市立近見中学校 卒業  
 愛媛県立今治西高校 卒業  
 早稲田大学社会科学部 卒業  
 参議院議員 山本順三 秘書  
 2007年愛媛県議会議員選挙初当選  
 以後4期連続当選 現在4期目

血液型：Rh-のA型(ちょっと珍しい)  
 星座 九星 蠍座 五黄土星  
 好きな言葉：従流志不変(流れに従えど志を変えず)  
 念ずれば花ひらく  
 尊敬する人物：坂本龍馬、秋山好古・真之  
 趣味：読書、格闘技観戦、ドラム演奏、旅行  
 好きな食べ物：焼肉、カレーライス、タコ焼き  
 家族構成：妻、長男、次男

### 主な役職

- 【県議会】 地方創生・産業振興対策特別委員、スポーツ振興議員連盟 事務局長
- 【政党】 自民党愛媛県連 政調会長、自民党今治支部 支部長
- 【その他】 四国地区私立幼稚園PTA連合会 会長、愛媛県アームレスリング連盟 理事長、今治少年少女合唱団 顧問、今治海洋少年団 顧問

これからも精一杯活動してまいります  
県政へのご意見・ご要望をお聞かせください

ふくら浩一 オフィシャルサイト  
<http://ふくら浩一.net/> クリックをお願いします!!  
 活動ブログ 大福日記 <http://fukura51.exblog.jp/>  
 facebook.com/koichi.fukura  
 E-mail : [fukura2951koichi@gmail.com](mailto:fukura2951koichi@gmail.com)

